

三陸の海を放射能から守る  
岩手の会

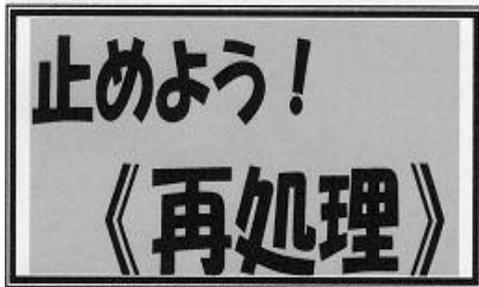
三三三通信 第30号

http://homepage3.nifty.com/gatayann/env.htm

《岩手の環境 / R I 廃棄物 / 再処理》

http://briefcase.yahoo.co.jp/k\_imag

《まった再処理分庫》



2006 (平成 18) 年

12月21日

編集事務局 S.Oshida

TEL・FAX

019-623-1636

郵便振替

02240-5-102650

# 三陸の海を守るために 進めてほしい15項目 12月県議会に陳情書提出



岩手県議会

「豊かな三陸の海を守る会」(田村剛一会长)と「三陸の海を放射能から守る岩手の会」(永田文夫世話人の会員二人が、十一月六日、岩手県議会伊藤勢至議長に面会し、「放射能から三陸の海を守るための陳情書」を手渡ししました。

提出した「陳情書」の内容は次のとおり。

## 真摯な説明会の実現を

1 岩手県は、国や原燃、青森県に対して、本格稼働による岩手県民への環境影響評価について真摯な説明責任を果たすよう申し入れること

安全協定に基づき「トリチウム除去装置」をつけること

2 岩手県は、同じく三者に対して「安全協定第五条」に基づき「トリチウム・クリプトンなどの除去装置」をつけるよう働きかけること。

それまでは本格操業をしないこと

3 岩手県は、日本原燃に、1・2項を実施するまでは本格操業をしないよう申し入れること

放射能海洋排出規制法の制定を国に要望

4 岩手県は国に対してロンドン条約に基づき放射能海洋放出規制法(仮称)の制定を求めると。

岩手県環境放射能検討委員会を立ち上げる

5 岩手県は、独自で学識経験者や市民による環境放射能検討委員会(仮称)を創設し、監視体制を強めること。

陳情の「理由書」ではアクティブ試験で既にかなりの放射能廃液が放出されている。七月八日に

は一般原燃のトリチウム基準の七七〇倍の濃度のトリチウムが放出され、本格操業になればさらに桁違いに多くの放射能廃液が流される。

沿岸八市町村議会では放射能海洋放出規制の法律(仮称)を制定するよう請願が採択され、国へ意見書が送付された。岩手県としても国に働きかけてほしい。

トリチウムやクリプトン、炭素14について、再処理工程で、その除去の技術が完成しているか、あるいは原理的に除去可能とされている。住民の被曝を避けるために、最優先で除去装置を付けることは、「安全協定」にある「放射性物質低減処置」として当然のことである。

陳情を受けた 伊藤勢至議長は、海を守りたいという想いは同じです。陳情書は全議員に伝えます」と答えました。

面談した永田文夫さんは「環境放射能検討委員会」を立ち上げることは、様々出されている三陸海域や海産物の放射能関係データを専門的に精査し、県民に正しく報知するための委員会を、特段お金がかかることとは思えない。ぜひ実現してほしい」と語

っていました。

各地で、再処理工場の放射能廃液の危険性学習会

## 久慈で学習会

十一月三十日久慈市のアンバーホールで、原水爆禁止久慈地区住民会議の主催で、四十人が出席。講師の原水禁青森の今村修さんは、風評だけでは無い、本当は怖い核燃施設」と題して講演しました。

## 宮古で映画とトーク

十一月二十五日岩教組支部女性部主催の映画「六ヶ所村ラプソディー」兼仲監督のトークが約四十人を集め開催され、翌二十六日の上映会にも市民約四十人が集まりました。

## 盛岡で映画とトーク

十一月二十六日盛岡市キヤラホールで、映画「六ヶ所村ラプソディー」上映会と兼仲監督のトークが開催され、約百六十人が集会しました。

## 盛岡市で

## ロンドン条約学習会

十一月二十四日、十五人が集まり、美浜の会代表小山英之氏を囲んで海洋への廃棄物投棄を禁ずるロンドン条約についてなどを学習しました。

# 押し寄せる放射性廃棄物・廃液問題

## 岩手県議会で論議続く

〔十月議会〕  
行政と住民が一体となった監視体制で安心安全を。

### 三浦陽子議員

十月十日本会議において一般質問に立った三浦陽子議員(民主・県民会議)は六ヶ所再処理問題について、行政と住民が一体となった監視体制の構築が必要であるとして、県の施策を質しました。

### これに対して増田寛也知事

「放射性物質の安全については国が専門の見地から一元的規制管理を行い、さらにモニタリング調査を通じて検証している。海洋環境調査を岩手県沖まで拡大するよう予算折衝中である。」と答えました。

菊池秀一環境部長は、「日本原燃は沿岸一五市町村に新聞折り込み広告を約七万枚配布するなど広報をしてい

る。」などと答えました。再処理工場でのトラブル件数は何件か

る。などと答えました。再処理工場でのトラブル件数は何件か

### 齋藤 信議員

十月十八日開催された決算特別委員会で齋藤信議員(共産)は再処理工場でのトラブル件数を質し、さらに、県内で説明会実施を働きかけるべきと質問しました。

### これに対して加藤陽一環境保全課総括課長

日本原燃の七月七日の中間報告ではアクティブ試験に関係するトラブルが六件発生している。県内の説明会では日本原燃が難色を示している。当面は、県民への広報を求めていくと答えました。

### 〔一二月議会〕

昨年の請願採択以来何かなされたのか

### 高橋比奈子議員

十二月六日、本会議で一般質問に立った高橋比奈子議員(自民クラブ)は昨年九月の再処理工場に



「アクティブ試験に慎重を期すること」などの請願採択した昨年九月県議会(県議会ホームページ放送から)

質問 トリチウムの除去装置について情報を提供してもらうべきではないか。

### 増田知事

安全確保に関しては国が科学的専門的知見と責任のもとに審査監視、確認している。県としては意見を述べる立場にはない。トリチウムなどの除去装置取り付け要望や情報提供についても、原燃と国の責任において議論・検討されるべきものと考えている。

### 質問

県民の安全は県が守ることなのであるから、安全だと説明されてきた数値を、もう一度すべて検証するべきではないか。

### 増田知事

放射能の安全数値の検証についても、国と事業者の責任において議論・検討されるべきことと考える。こうした議論が、県議会の場であったということは、国および事業者に伝えて参る。

### 質問

海洋放出について、日本原燃に対して、事前の公表を要請するべきではないか。

### 菊池秀一環境生活部長

そのように原

燃に伝える  
質問 アクティブ試験の進捗状況はどうなっているのか

### 菊池環境生活部長

第二ステップが八月十二日に開始され現在に至っている。原燃は、海への放出は四月以降月単位で公表しているが、処理水については十月分から公表をはじめその量は約二九〇〇トとして、今後の放出日時と放出量については事前には公表されず、毎月の放出実績として日本原燃のホームページで公表される。

### 質問

岩手県沖海産物の最新のデータを知りたい

### 菊池生活環境部長

文部科学省が全国的に行っている調査データの岩手県分として、山田町ホタテ、洋野町コンブがある。自然由来と微量な人工放射性物質が検出されているが全国と同レベル値となっている。

### 文部科学省の海洋環境放射能調査が岩手県沖合まで拡大された場合

データの収集地点と対象海産物、測定項目が増えることから、このデータを活用し、県民に分かりやすいような形で、情報提供してゆく方向で検討している。

高レベル放射性廃棄物処分、ボーリング調査への姿勢は

### 伊沢昌弘議員

### 高橋博之議員

日本原子力研究開発機構が、高レベル放射性廃棄物に係わる国内で唯一のボーリング調査を遠野市で計画していたことが十一月二十九日明らかになり、質問が出されました。

### 伊沢昌弘議員(政和・社民クラブ)は五日の本会議で質問しました。これに

### 対して増田寛也知事は

「先人が長い歴史の中で守り育てた豊かな自然良好な環境を将来に引き継ぐことが私たちの大きな責務であり、本県に最終処分場を受け入れる考えはない。今後他の地域に対して処分施設に係わる同様の調査があった場合でも、県として反対して行く。」と答弁しました。

### さらに、六日に高橋博之議員(無所属)が質問しま

したが、増田知事は「学術的とはいえ、将来の候補地につながるかねないという不安のある調査は今後、国や機構から働きかけがあっても反対して行く。」と答えました。